

## 随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	港湾分野におけるBIM/CIMの利活用方策に関する調査業務
業務場所	国土技術政策総合研究所
業種種別	建設コンサルタント等
履行期間（自）	令和7年7月24日
履行期間（至）	令和8年2月27日
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所副所長 宮島 正悟 神奈川県横須賀市長瀬3丁目1番1号
契約を締結した日	令和7年7月24日
契約の相手方の商号又は名称及び住所	港湾空港総合技術センター・八千代エンジニアリング設計共同体
	理事長 山縣宣彦
	東京都千代田区霞が関3丁目3番1号
随意契約によることとした会計法令の根拠条文	会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、港湾分野における生産性の向上を図るため、積算システムへの3次元モデルの活用、浚渫工用の3次元設計データ簡易作成ツールの改良等、BIM/CIM等の情報通信技術の利用促進・拡大に関する調査を行うものである。</p> <p>本業務の実施にあたっては、港湾施設の3次元モデルから数量を算出し、3次元モデル作成ソフトウェアと積算システムの連携に関する検討を行い、さらに、浚渫工3次元設計データ簡易作成ツールの改良を行う必要があることから、業務の実施にあたって、BIM/CIM等の情報通信技術及び積算システム等の港湾工事に関する高度な専門知識、広範かつ最新の知見に加え柔軟な発想力・企画力が必要であり、これらが業務の成果に密接に関係することから、簡易公募型（拡大型）プロポーザル方式に準ずる方式により公募を行った。</p> <p>その結果、入札説明書を交付した28者のうち、業務実施条件を満たし技術提案を行った唯一の法人であり、また業務実績、技術提案書の内容等を総合的に評価した結果、上記法人には本業務を遂行する上で必要な能力が十分備わっていることが確認された。</p> <p>以上の理由から上記法人を選定し、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、随意契約するものである。</p>
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	¥29,777,000
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	¥29,700,000
落札率	99.74%
再就職の役員の数	

## プロポーザルの評価結果

1. 業務名 港湾分野におけるBIM/CIMの利活用方策に関する調査業務
2. 特定した提案者 港湾空港総合技術センター・八千代エンジニアリング設計共同体
3. 特定した提案者の住所 東京都台東区浅草橋五丁目20番8号
4. 特定した提案者の代表者氏名 長谷川 清
5. 特定日 令和 7年 7月 8日

項 目	配点	港湾空港総合 技術センター・ 八千代エンジ ニアリング設 計共同体			
<b>1. 技術者資格</b>					
配置予定管理技術者の技術者資格等	5	4			
<b>2. 業務実績</b>					
同種業務、類似業務又は同種研究、類似研究の実績	5	5			
<b>3. 業務成績及び表彰</b>	10	8			
「配置予定管理技術者」の令和2年度から令和5年度末までに完了した、国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)、全地方整備局、及び沖縄総合事務局(すべて港湾空港関係)発注の建設コンサルタント等業務において、管理技術者及び担当技術者として従事した業務の技術者評定点の平均点	5	5			
「配置予定管理技術者」の令和2年度から令和5年度までに完了した業務の技術者表彰の有無	5	3			
<b>4. 技術提案書の内容</b>	120	60.000			
1)実施方針・業務フロー	30	0.000			
2)特定テーマに関する技術提案	90	60.000			
特定テーマ1 3次元モデルによる数量算出に関する検討を行う上での留意点	45	27.000			
特定テーマ2 浚渫工3次元設計データ簡易作成ツールの改良を行う上での留意点	45	33.000			
<b>合 計</b> (小数点第3位以下切り捨て2位止め)	140	<b>77.00</b>			